

菊地 時子 改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

### 新型コロナウイルス感染症の対応

【問】 感染拡大の不安から受診抑制、介護の訪問サービスやデイサービスの利用を控える等、医療崩壊への危機感が関係者から出ている。医療、介護、障がい者施設の現場が崩壊しないための支援策は。

【答】 医療機関に対し、市では、医師会から要望のあった拠点病院への感染症検査機器の導入に係る支援や、仮設診療所の設置準備を進めることとしている。介護サービス事業所と障害福祉サービス等事業所については、国において、報酬上の取扱いの特例を設けるとともに、事業の継続に支障が生じている事業者に対し各種支援制度も示している。

### 高齢者の補聴器購入への補助の検討状況は

【問】 高齢化社会の中で加齢性難聴による認知症の進行などが問題になっている。何の対応もしないと社会的に孤立し、要介護度が高くなる可能性が大きくなる。実態調査を行い、補聴器購入に対し補助を。

【答】 難聴があると、認知症を発症するリスクが高いとの研究結果はあるが、補聴器の使用により、聞き取りが良くなることで、高齢者の活発な交流が図られるなど、意欲の向上に効果があると考えている。今後、能代市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定を進める中で、活力ある高齢化推進委員会の意見も踏まえ、検討していきたい。

### その他の質問事項

○コロナ禍での災害時の避難所対策

原田 悦子 平政・公明党

### 感染症対策

【問】 ごみ処理を担う人たちは、医療と同様、人々の生活に欠かせない仕事である。マスクの捨て方、処分について、市民及び収集業者にどのような指導をしているか。

【答】 一般家庭からごみを排出する際には「飛沫のついたごみに直接触れない」、「ごみ袋はしっかりと縛って封をする」、「ごみを捨てた後は手を洗う」との周知を図っている。また、ごみ収集運搬業者に対しては、環境省の廃棄物処理における新型コロナウイルスエンザ対策ガイドライン等に準じて、作業時のマスクの着用等の周知を図っている。

### 厚生労働省が公表した病院再編・統合

【問】 新型コロナウイルス感染症の大流行で、医療機関に携わる方々は難儀している。病床削減、医療費抑制より、人の命や健康がいかに大切であるか分かった。病院存続のための市の行動と現在の状況は。

【答】 地域医療体制を確保するため、秋田県市長会等を通じ、慎重な対応をするよう国へ要望してきた。今年1月、国は、地域の実情に関する知見を補いながら、具体的対応方針等の再検証を地域医療構想調整会議において議論するよう県へ通知した。市としては、今後開催が見込まれる同会議において、地域の実情を踏まえた慎重な対応を求めていきたい。

### その他の質問事項

○マスク等の備蓄量は適切か  
○白濁等の運用状況と再編等の具体的な計画は

安井 英章 改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

### スプレー缶の処理方法

【問】 市のスプレー缶処理は「必ず大きな穴を開けてから出して」となっているが、高齢者などにとっては無理があるのでは。秋田市は穴を開けずとも緑色の回収箱へ入れると専門業者がリサイクルするが。

【答】 市では、スプレー缶の中身を使い切ってから、市販の器具などで穴を開け、燃えないごみとして地域にあるごみステーションに出すこととしている。手順を守って捨てていただくようこれまで周知してきたが、これからも広報、ホームページ、冊子等を活用し周知するほか、自治会等から説明会の要望があれば、出向いて協力をお願いしていきたい。

### 種梅入口交差点の立体化

【問】 種梅入口交差点の立体化の調査実施について採択された。藤里町に向かう国道7号交差点は合流ラインが短く危険である。種梅入口は合流ラインを長くするよう要望しているか。

【答】 種梅入口交差点の立体化については、国から道路構造令や各種基準に基づき設計し、公安委員会や関係機関との協議の上で事業が進められる、と伺っている。立体化に伴う合流ラインは、交通の安全性向上と円滑化等を図るため、適正な車線長が確保されるものと考えているが、今後具体化に当たり、要望していく。

### その他の質問事項

○家庭用マスクは大量に備蓄しているか  
○廃プラスチックの再資源化は進んでいるか  
○印鑑を使用廃止にできないか